

山形市野草園だより(10月号)



今年の夏も記録的な厳しい暑さでした。また、雨もあまり降らず、植物たちが悲鳴をあげているような日々が続いていましたが、ここにきて、やっと一息ついた状況です。

暑さは、10月一杯気をつけなければなりません。野草園の植物たちは、すっかり秋の草花たちが顔を出したり、春に咲いていた花がきれいな実を实らせたり、葉が赤や黄色に色付いたりして、秋の装いをしています。今しか味わえない野草園の植物たちを、是非、楽しんでいただければと思います。

山形市野草園

山形市大字神尾 832-3

電話 023-634-4120

野草園は 
ポイント対象施設です



10月～11月中旬の予定

◆開園期間

- 開園期間 4/1(火)～11/30(日) 9:00～16:30(入園は16:00まで)
- 休園日 毎週月曜日(ただし 月曜日が祝日の場合は翌平日)
*10月の休園日: 10/6(月)、10/14(火)、10/20(月)、10/27(月)

◆野草園は SUKSK ポイント対象施設

- 内容 専用のスマホアプリで二次元コードを読み取るかポイントシールを受け取ることで、1回の来園で500ポイント付与(1日1回まで)《詳細は「山形市 健康ポイント スクスク」で検索》

◆ガイドウォーキング

- 実施日 毎週日曜日・祝日 1日2回実施
*10月の実施日: 10/5(日)、10/12(日)、10/13(月)、10/19(日)、10/26(日)、
- 時間 ① 10:30～11:30 ② 13:30～14:30
- 内容 その日の見頃の場所・見頃の植物を案内
- 費用 無料(入園料300円は別途)

◆第32回 野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品展

- 期間 10/19(日)～11/24(月・振替休日)
- 内容 審査の結果入賞した「一般の部」・「小中学生の部」の作品を展示
- 費用 無料(入園料300円は別途)

◆ガーデニング教室

- 日時 10/4(土) 10:00～12:00
- 内容 ハンギングバスケットづくり
- 申込 先着15人 募集は終了しました
- 参加費 3,600円(入園料300円は別途)
- 持ち物 エプロン、手を拭くタオル(汚れていいもの)、
作業用手袋、袋 or 段ボール(作品を持ち帰るため)

◆四季観察会(第3回)

- 日時 10/23(木) 9:30～11:30
- 内容 サクラの紅葉と木の実を観察
- 申込 先着20人 9/23(火)～野草園まで電話で
- 参加費 資料代200円(入園料300円は別途)

◆庭木を楽しむための基礎講座(第4回・第5回)

- 日時 10/24(金)、25(土) 9:30～11:30
- 内容 初心者を対象に、庭木の生活リズム、管理について学ぶ講座
- 申込 各日 先着 30人 10/5(日)～野草園まで電話で
- 参加費 資料代200円(入園料300円は別途)

◆東北芸術工科大学 日本画コースによる作品展示～「ひみつの庭、ひみつの友達」～

- 日時 10/28(火)～11月7日(金) 9:00～16:30
- 内容 野草園にある植物や風景をモチーフにし、空想を織り交ぜた作品の展示
- 費用 無料(入園料300円は別途)

◆雪囲い教室

- 日時 11/1(土) 10:00～12:00
- 内容 雪囲いに必要な男結びの習得
- 申込 各日 先着20人 10/5(日)～ 野草園まで電話で
- 参加費 無料(入園料300円は別途)
- 持ち物 剪定ばさみ、軍手、雨合羽、防寒着

◆リース作り教室

- 日時 11/2(日) 10:00～12:00
- 内容 木の実やアジサイのドライフラワーなど自然素材を使ったリース作り
- 申込 先着15人 10/5(日)～ 野草園まで電話で
- 参加費 材料代1,500円(入園料300円は別途)

◆バードウォッチング

- 日時 11/15(土) 9:00～11:00
- 内容 園内の野鳥観察
- 申込 先着20人 10/21(火)～ 野草園まで電話で
- 参加費 資料代200円(入園料300円は別途)
- 持ち物 双眼鏡(貸出しあり)



◆カフェの営業・山野草販売(自然学習センター)

○カフェ やまぼうし

《営業》土曜・日曜 10月5日(日)は臨時休業

《メニュー》カレー(ブラック・グリーン)、ピザトースト、ハム野菜サンド、
バナナシェイク、コーヒー(アイス・ホット)

◆開花した花等の紹介

- 野草園のホームページから観察日記・Instagramをご覧ください。
園内の様子や開花状況等をお知らせいたします。
- ホームページ内の「植物検索システム」で園内の植物を検索できます。



▲野草園観察日記▲



YAMAGATASHI.YASOUEN

▲Instagram▲

●● 10月の様子 ●●

※写真は昨年の様子



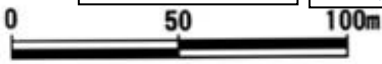
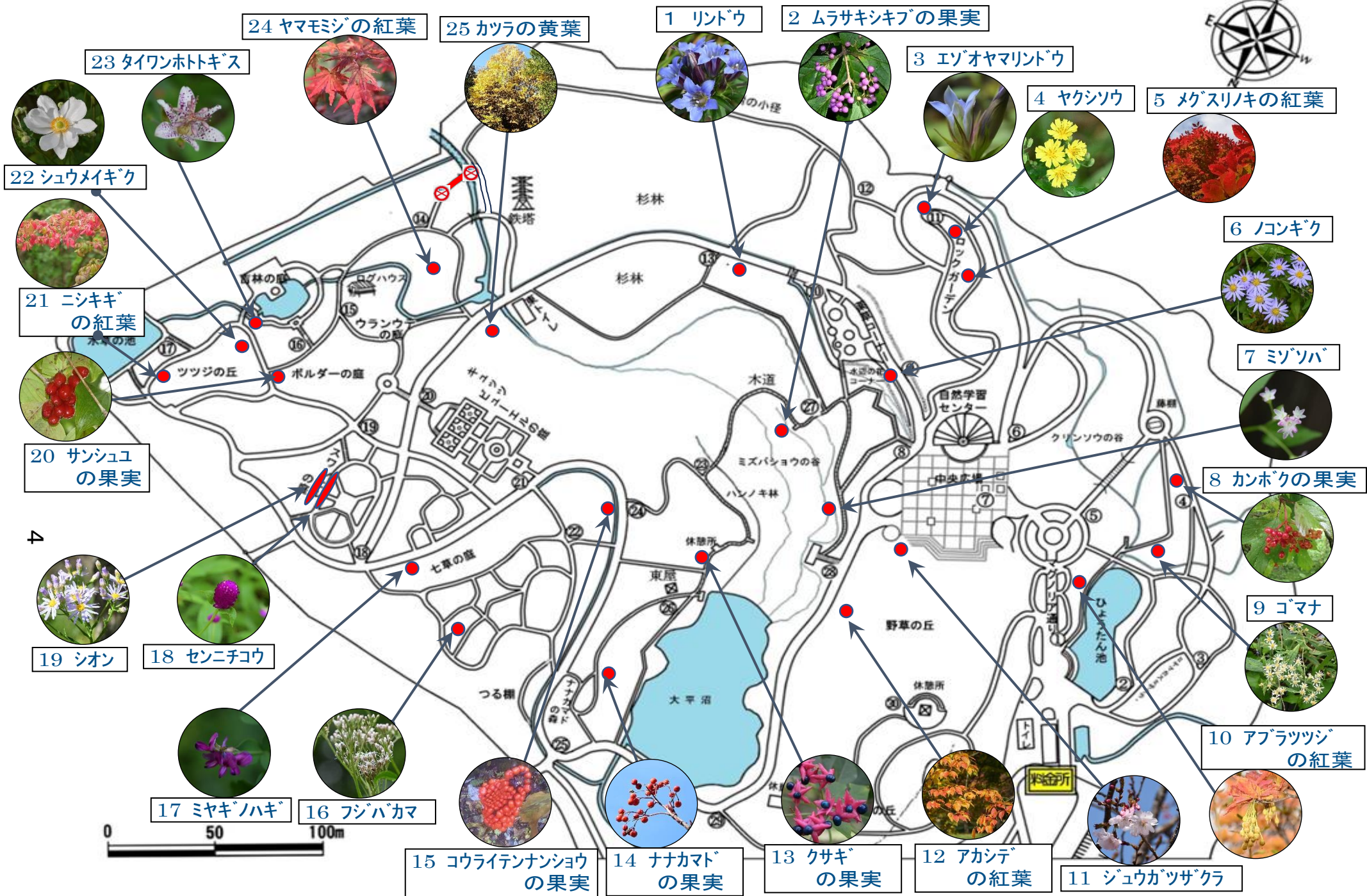
ガーデニング教室



四季観察会



庭木を楽しむための基礎講座



●●● 10月に見られる主な花・果実・紅葉 ●●●



1 リンドウ(リンドウ科) 案内標識⑬

秋の山を代表する多年草で、根茎は細く、葉は緑色で縁には細突起があってややざらつきます。茎の頂き、または、上部の葉のわきに青紫色の花を開きます。花は鐘状で5裂し、裂片の間にはさらに副裂片があります。エゾリンドウが湿地に生えるのに対して、本種は山野に生えます。



2 ムラサキシキブの果実(シソ科) ミズバショウの谷

山野の林内や林縁に生える落葉低木です。葉は対生で、形は長楕円形、先が尾状にとがり基部は狭いくさび形です。夏に淡紅色の小さい花をたくさんつけます。花も美しいですが、果実もまた、紫色でとても美しく見えます。果実は、葉が落ちた後も枝に長く残っています。



3 エゾオヤマリンドウ(リンドウ科) ロックガーデン

亜高山から高山帯の湿った草地などに生育し、エゾリンドウの高山型の多年草です。花は茎頂付近にしか付かないのが特徴で、草丈はエゾリンドウより低く40~50cm程です。天気が良く、陽光がいっぱい当たっていないと開花せず、開花しても先が開く程度で、平開することはありません。



4 ヤクシソウ(キク科) ロックガーデン

山野に普通に生える2年草です。葉は薄く、基部で茎を抱きます。枝先に多数の花を付けます。頭状花は全部黄色の舌状花からなり、花期が終わると下を向き、黒っぽい総苞と白い冠毛が目立ちます。名前は、葉の形が薬師如来の光背に似ること由来すると言われていますが、他の説もあります。



5 メグスリノキの紅葉(ムクロジ科)

ロックガーデン

高さ10mにもなる落葉高木です。樹皮を煎じて洗眼に用いたのが、メグスリノキと呼ばれています。対生する葉は三出複葉で、小葉は5~10cmの長楕円形です。春、枝先に付く白色花はあまり目立ちませんが、秋は見事に紅葉します。よく見ると葉柄などに細かい毛が密生します。



6 ノコンギク(キク科) 薬草コーナー付近

山野のいたるところに生える多年草で、地下茎を伸ばしてふえます。茎はよく枝分かれし短毛が密生し、葉の両面にも短毛が生えざらつきます。花は、中心に黄色の筒状花が多数あり、まわりに淡青紫色の舌状花が1列に並びます。特に紫色の濃いものが選別されて、紺菊(コンギク)として観賞用に流通しています。



7 ミソソバ(タデ科) ミズバショウの谷

小川沿いや沼沢地、湖岸などに生える草丈30~80cmの1年草で、茎の上部は直立し下向きの刺があります。花は、茎頂に繖状花序で10数個つき、花被は下部が白色で上部は紅紫色、長さ4~7mm、先は5裂します。かつては、水田の用水路や小川の縁に普通に生え、見た目が蕎麦に似ていることが由来です。



8 カンボクの果実(ガマズミ科) 薬案内標識④

主に北日本の山地に生える落葉低木です。葉は3つに裂け、初夏に、白いガクアジサイのような両生花と装飾花を咲かせます。秋には、真っ赤な果実を多数付けます。とてもおいしそうに見えますが、つぶしてみると強い臭気があります。そのためか鳥も食べず、葉が落ちた後も、春まで実が残っています。



9 ゴマナ(キク科) ひょうたん池周辺

山野の日当たりの良い所に生える多年草です。草丈が1~1.5mで、茎や葉に細毛があり触るとざらつきます。茎の上部で散房状に枝を分け、白い小菊のような花を多数付けます。白い花弁は舌状花で、中心の黄色いところが筒状花の集まりです。葉が“胡麻”の葉に似ていることが、名前の由来です。



10 アブラツツジの紅葉(ツツジ科) マグノリア通り

山地に生えよく枝分かれする落葉低木です。葉は枝先に輪生状に集まってつき、倒卵形です。6月頃枝先に淡緑色の花を繖状につり下げます。ドウダンツツジの仲間は鮮やかな赤色に紅葉します。そのひとつが本種です。葉の裏に光沢があり、油を塗ったように見えることが名前の由来です。



11 シュウガツザクラ(バラ科) 野草の丘

コヒガンザクラの園芸品種で、春（4月）と秋（10～11月）の2回開花します。花は淡紅白色で八重咲きです。名前は「十月桜」で10月頃に開花することに由来します。春に比べ秋に咲く花はやや小さいようです。なお、コヒガンザクラはエドヒガンとマメザクラの交雑種です。



12 アカシデの黄葉(カバノキ科) 野草の丘東

山地や平地に生える落葉高木です。初夏に開花し、果穂は長い柄で垂れ下がり、ややまばらに苞がつかます。苞は葉状で3裂し、小さい果実を包みます。名前の由来は、新芽が赤く、花穂の垂れる様子がしめ縄に垂れる紙（紙垂：しで）に似ていることによります。シデ類の中では最も紅葉が鮮やかです。



13 クサギの果実(シソ科) 大平沼東側東屋付近

日当たりの良い山野の林縁に生える落葉の小高木で、芳香のある白花を多数つけます。花の後、萼はきれいな濃紅色になり、深裂して星状に開き、中央に藍色の果実をつけます。まるで花のような果実です。花も果実も綺麗なのですが、名前は「臭木」です。葉に臭気があることが名前の由来です。



14 ナナカマドの果実(バラ科) ナナカマドの森

真っ赤な紅葉が美しい木のひとつです。小さな葉が羽のように並んで1枚の葉を構成する羽状複葉で、鮮やかな赤色に紅葉します。赤い果実は葉が緑色の頃からつけ、葉が落ちてからも枝に残ります。果実は、冬に鳥の餌となります。

山形市の木に制定されています。



15 コウライテンナンショウの果実(サトイモ科)

案内標識④付近の大カーブ

真っ赤な、まるでトウモロコシの様な形の果実です。少々気味が悪いほどの外見と赤色で、毒々しい印象です。初夏には、緑色の蛇が鎌首を持ち上げたような形の花を咲かせていました。マムシグサは全草に毒性があり、特に、球根の毒性が強く、汁が皮膚に付くと炎症を起こします。誤って食べると、死に至ることもあります。



16 フジバカマ(キク科) 七草の庭

奈良時代に中国から渡来し、本州の関東地方以西、四国、九州などに自生する多年草です。葉は短い柄があり対生し、長楕円形～長楕円状披針形でふつつ3深裂します。頭花は淡紅紫色で5個の筒状花があり、それが散房状にたくさんついています。秋の七草のひとつですが、野生で見られることは少なくなっています。



17 ミヤギノハギ(マメ科) 七草の庭

高さ 1.5m 程の落葉低木ですが、草本のような性質も備えているので半低木ともされます。花は、葉腋に多くつき、長さ 1.5 cm 程になる紅紫色の蝶型花です。枝がとても柔らかく、地面に着くほど枝垂れているのが特徴です。葉はマメ科に普通に見られる三出複葉で、小葉は円形に近い楕円形、長さ 3 cm 前後です。宮城県の県花になっています。



18 センニチコウ(ヒユ科) スワンヒルの庭

古く日本に入ってきた園芸用の草花で、熱帯地方原産の 1 年生草本です。茎の先に長い花茎をだし、その先に 1 個の球状の花をつけます。花は色のついた翼のある 2 個の小苞に包まれた多数の小花からできています。小花は普通紅色ですが、淡紅色、または白いものもあります。花が長持ちすることが名前の由来です。



19 シオン(キク科) スワンヒルの庭

山間の草地に生える多年草で、庭にも植えられます。茎は高さ 1.5～2m で直立し、葉とともに毛があります。秋に淡紫色の舌状花と黄色の冠状花からなる頭状花序をつけます。鬼の醜草（オニノシコグサ）、十五夜草（ジュウゴヤソウ）、思い草（オモイグサ）などの別名があります。



20 サンシュユの果実(ミズキ科) 吉林の庭

中国原産の落葉高木で、江戸時代に薬用植物として渡来しました。春、葉が開く前に淡黄色の小さな花をたくさんつけるので「春黄金花」と言われます。秋は果実が赤く熟すので「秋珊瑚」という別名もあります。果肉を乾燥したものを強壮、強精などの薬用に、果実を果実酒に利用します。



21 ニシキギの紅葉(ニシキギ科) ツツジの丘

山野の林縁に生える高さ1～3mの落葉低木で、枝に薄板状のコルク質の翼が矢羽根のように張り出すのが特徴です。葉は、マユミやツリバナよりも小さいです。葉腋に淡黄緑色で小さい目立たない花を数個つけます。美しい紅葉を錦に例えたことが、名前の由来です。紅葉がきれいなので生け垣などに使われることも多いようです。



22 シュウメイギク(キンポウゲ科) 吉林の庭

人里近くの林縁などに生える多年草です。古い時代に中国から入ってきた栽培品種で中国では秋牡丹と言われていたようです。美しいので、よく庭などに植えられています。花は多数の花弁状の萼片からなり、実は花弁はありません。秋に菊によく似た花をつけることが名の由来ですが、菊ではなくアネモネの仲間です。



23 タイワンホトトギス(ユリ科) 吉林の庭

沖縄県などの亜熱帯地域の山地や森林の湿った場所に自生し、高さは30～50cmになります。和名は、斑点が入る花を、鳥のホトトギスの胸の模様に見立てたことに由来します。園芸用に品種改良されたものが多く栽培されています。



24 ヤマモミジの紅葉(ムクロジ科) カエデ林

北海道や日本海側に多い落葉小高木です。葉は対生で、掌状に深く5～9裂し、縁は重鋸歯になっています。園内で最も多いカエデです。紅葉は葉が赤くなるもの、黄色くなるもの様々あり、変異の多い樹木です。



25 カツラの黄葉(カツラ科) 東トイレ周辺

カツラの木が黄葉し、落葉すると周りには甘い匂いが漂います。木の周りには黄色や茶色のハート形の落ち葉がたくさんあり、その落ちた黄色の葉が茶色になり始めると砂糖をこがしたような香ばしい匂いを出すためです。綿菓子のような匂いとか、みたらし団子のような匂いとか言われています。